

衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会ニュース

平成 29. 7. 9 第 196 回国会第 3 号

7 月 9 日（月）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 理事の辞任及び補欠選任

- ・理事の辞任を許可し、補欠選任を行いました。

辞任 理事 國場幸之助君（自民）

補欠選任 理事 井上貴博君（自民）（理事國場幸之助君今 9 日理事辞任につきその補欠）

2 沖縄及び北方問題に関する件

- ・福井国務大臣（沖縄及び北方対策担当）、河野外務大臣、山本防衛副大臣、山下内閣府大臣政務官、岡本外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

宮内秀樹君（自民）

- ・沖縄の経済、特に観光産業が好調である。今国会の安倍総理の施政方針演説でも取り上げられていた国家戦略としての沖縄振興に関して、福井国務大臣の意気込みを伺いたい。
- ・平成 29 年 12 月に米軍ヘリの窓が小学校に落下したが、再発防止に向け、日本政府はどのような対応を行ったのか。また、米軍の取組状況についてどのように認識しているのか伺いたい。

鈴木貴子君（自民）

- ・北方領土参入については、平均年齢が 80 歳を超えている元島民の負担軽減のため、昨年より航空機を利用して行われているが、今年度の見通しについて伺いたい。
- ・北方四島住民支援として建設されたディーゼル発電施設や緊急避難所兼宿泊施設などのメンテナンスを我が国が実施することにより、日本の存在感を高めることができると考えるが、外務省の見解を伺いたい。

佐藤英道君（公明）

- ・平成 28 年 12 月の日露首脳会談により協議が開始された北方四島における共同経済活動に関し、双方の法的立場を害さない枠組みに対する協議の現状と今後の見通しについて伺いたい。
- ・知床の世界自然遺産を北方領土まで拡張するとともに、オホーツクからアイヌ文化の複合遺産にするという構想について、日露共同で調査を実施することは、文化交流

事業として最適と考えるが、現在の検討状況について伺いたい。

近藤昭一君（立憲）

- ・普天間飛行場の返還については、辺野古への移設と緊急時の民間空港の使用が条件となっているが、どの民間空港を使用するかは明らかになっていない。民間空港の使用には地元の理解が不可欠であり、このままでは同飛行場の返還が進まないと考えるが、河野外務大臣の見解を伺いたい。
- ・普天間飛行場の辺野古移設を巡り、埋立区域内に生息し、環境省版海洋生物レッドリストに記載されているオキナワハマサンゴについて、高水温期の移植に関する対策の実施の有無と文献、その効果等については専門家の助言も含め伺いたい。

神谷裕君（立憲）

- ・北方領土問題について、元島民の高齢化が進んでいる現状に鑑み、若い世代へ繋いでいくためには啓発活動が必要と考えるが、福井国務大臣の見解を伺いたい。
- ・平成 28 年 5 月のソチでの日露首脳会談は、新しいアプローチによる交渉を進めることで認識が一致した。北方領土問題を解決するための新しいアプローチの内容について伺いたい。

赤嶺政賢君（共産）

- ・沖縄振興予算の現状は、国直轄予算が増加する一方、一

括交付金は減り続けている。沖縄の自主性の尊重を明記した沖縄振興特別措置法の趣旨に反していると考えが、福井国務大臣の見解を伺いたい。

- ・沖縄子供の貧困対策緊急事業による貧困対策支援員の配置等について、平成 31 年度以降も継続して実施すべきと考えるが、福井国務大臣の見解を伺いたい。
- ・日本政府が沖縄で進める、いわゆる T O F U プログラムでは、高校生等を米国に派遣しているが、その事前学習で日米安保体制等を学ばせている。本当の狙いは、国際社会で活躍する人材育成ではなく、日米同盟や海兵隊駐留の意味を学ばせることにあるのではないのか。

下地幹郎君（維新）

- ・沖縄振興一括交付金を活用して設立された沖縄データセンターは短期間のうちに 10 億円の負債を抱えて民事再生することになったが、運営は、倒産させた同一会社が再度担うこととなった。国として予算の付け方を更に精査するべきではないか。
- ・沖縄データセンターには多額の一括交付金をつぎ込んだ一方で、沖縄県の自治体が切望している大型 M I C E の調査費には予算が付けられない理由を福井国務大臣に伺いたい。
- ・空港のキャパシティは、投資や雇用の際の重要な判断材料にもなる。このため政府は、那覇空港の第 2 滑走路増設後における年間処理能力を明確に示す必要があるのでは

はないか。

山岡達丸君（国民）

- ・我が国は、これまで北方四島において様々な人道的支援を行ってきた。こうした活動が、平和条約締結交渉にどのような効果を与えたのか、また、今後どのような方針で臨むのか、河野外務大臣に伺いたい。
- ・政府が北方四島の元島民等の支援のために行っている事業は、いかなる考えに基づいて、どのように行われているのか、福井国務大臣の見解を伺いたい。

緑川貴士君（国民）

- ・北方領土問題と安全保障を関連付けるロシアは、我が国のイージス・アショアの配備についても懸念を示している。これに対して、脅威を与えるものではないとの説明を繰り返す我が国の対応では、北方領土問題は進展しないと考えるが、河野外務大臣の見解を伺いたい。
- ・防衛省は、イージス・アショアの配備計画を進める一方、北朝鮮の弾道ミサイルを想定した住民の避難訓練を中止した。これについては矛盾があると考えが、防衛省の見解を伺いたい。

3 北方領土問題等の解決の促進のための特別措置に関する法律の一部を改正する法律案起草の件

- ・渡辺孝一君外 4 名（自民、立憲、国民、公明、維新）から、起草案を成案とし委員会提出の法律案として決定すべしとの動議が提出され、提出者渡辺孝一君（自民）から趣旨説明を聴取しました。
- ・赤嶺政賢君（共産）から提出者渡辺孝一君（自民）、福井国務大臣及び中根外務副大臣に対し発言がありました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって起草案を成案とし、これを委員会提出の法律案とすることに決しました。（賛成一自民、立憲、国民、公明、無会、共産、維新）

（発言者及び主な発言内容）

赤嶺政賢君（共産）

- ・北方領土隣接地域振興等基金の取崩しの規模と附則第 2 項の財政上の検討条項に関して、どのように想定しているのか、提案者に伺いたい。
- ・基金を取り崩した後の財源の確保について、福井国務大臣の見解を伺いたい。
- ・共同経済活動のプロジェクトの具体化が進んでも、それを実現するための法的枠組みが具体的できなければ絵に描いた餅である。法的枠組みについて日露間でいつごろまでに合意できるのか、中根外務副大臣に伺いたい。

4 北方領土問題等の解決の促進及び北方領土隣接地域の振興に関する件

- ・江渡聡徳君外5名（自民、立憲、国民、公明、無会、維新）から提出された北方領土問題等の解決の促進及び北方領土隣接地域の振興に関する件の決議案について、提出者山岡達丸君（国民）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを委員会の決議とすることに決しました。
（賛成－自民、立憲、国民、公明、無会、共産、維新）
- ・福井国務大臣から発言がありました。

5 北方地域旧漁業権者等に対する特別措置に関する法律の一部を改正する法律案起草の件

- ・横光委員長から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって起草案を成案とし、これを委員会提出の法律案とすることに決しました。
（賛成－自民、立憲、国民、公明、無会、共産、維新）